

NY マーケットレポート（2014 年 3 月 13 日）

昨晚の NY 外国為替市場は、序盤に発表された新規失業保険申請件数、小売売上高などの主要な米経済指標が軒並み市場予想より改善したことを受けて、ドル円・クロス円は堅調な動きとなりました。しかし、ケリー米国務長官とラブロフ露外相がウクライナ情勢について電話会談をしており、ロシア側の対応次第では、来週から欧米の制裁が発動するとの内容のコメントが流れたことを受けて、ウクライナ情勢をめぐるリスクが再び意識されました。そして、株価が大きく下落するなど、投資家のリスク回避の動きが強まったことから、安全な資産とされる円を買う動きが優勢となりました。円は全ての主要通貨に対して上昇する動きとなりました。また、中国の経済指標の悪化を背景に、中国経済の先行き警戒感の高まりも材料視されていました。

2014/3/13 (木)

TOKYO	東京終値	東京高値	東京安値
USD/JPY	102.61	102.87	102.50
EUR/JPY	143.17	143.38	142.64
GBP/JPY	170.81	171.37	170.54
AUD/JPY	93.02	93.29	92.31
EUR/USD	1.3956	1.3957	1.3896

LONDON	LD高値	LD安値
USD/JPY	102.65	102.42
EUR/JPY	143.25	142.84
GBP/JPY	171.55	170.56
AUD/JPY	93.08	92.84
EUR/USD	1.3967	1.3943

*LD高安は東京クローズ～NYオープンまでの高安

アジア主要株価	終値	前日比
日経平均	14815.98	-14.41
ハンセン指数	21756.08	-145.87
上海総合	2019.11	+21.42
韓国総合指数	1934.38	+1.84
豪ASX200	5412.61	+28.42
インドSENSEX指数	21774.61	-81.61
シンガポールST指数	3081.39	-16.04

欧州主要株価	終値	前日比
英FT100	6553.78	-67.12
仏CAC40	4250.51	-55.75
独DAX	9017.79	-170.90
ST欧州600	324.51	-3.44
西IBEX35指数	9950.30	-120.10
伊FTSE MIB指数	20591.82	-189.64
南ア 全株指数	46825.52	-363.32

NEW YORK	NY終値	NY高値	NY安値
USD/JPY	101.70	102.81	101.55
EUR/JPY	141.02	143.36	140.71
GBP/JPY	169.06	171.63	168.72
AUD/JPY	91.78	93.41	91.54
NZD/JPY	86.87	88.33	86.53
EUR/USD	1.3868	1.3959	1.3845
AUD/USD	0.9026	0.9104	0.9014

米主要株価	終値	前日比
米ダウ平均	16108.89	-231.19
S&P500	1846.34	-21.86
NASDAQ	4260.42	-62.91
その他主要株	終値	前日比
🇨🇦 トロント総合	14245.14	-73.86
🇧🇷 ボルサ指数	38037.50	-597.33
🇧🇷 ボベスパ指数	45443.83	-417.98

3/14 経済指標スケジュール

08:50 【日】2月日銀金融政策決定会合・議事要旨公表
 11:00 【シンガポール】4Q失業率
 13:30 【日】1月鉱工業生産
 13:30 【日】1月稼働率指数
 14:00 【シンガポール】1月小売売上高
 16:00 【独】2月消費者物価指数
 17:15 【スイス】2月生産者輸入価格
 18:30 【英】1月商品貿易収支
 19:00 【欧】4Q雇用者数
 21:30 【米】2月生産者物価指数
 22:00 【ポーランド】2月消費者物価指数
 22:55 【米】3月ミシガン大学消費者信頼感指数

コモディティ	終値	前日比
NY GOLD	1372.40	+1.90
NY 原油	98.20	+0.21
CME コーン	484.25	0.00
CBOT 大豆	1390.75	+9.00

米国債利回り	本日	前日
2年債	0.33%	0.36%
3年債	0.73%	0.78%
5年債	1.52%	1.58%
7年債	2.13%	2.20%
10年債	2.65%	2.72%
30年債	3.59%	3.67%

3/14 主要会談・講演・その他予定

NY 市場レポート

21:00

ドル/円 102.61 ユーロ/円 143.19 ユーロ/ドル 1.3954

21:00

欧州株式市場・米株価指数先物

欧州主要株価	株価	前日比	米株価先物	株価	前日比
英 FT100	6607.68	-13.22	ダウ INDEX FUTURE	16359	+20
仏 CAC40	4302.53	-3.72	S&P500 FUTURE	1870.90	+3.20
独 DAX	9204.10	+15.41	NASDAQ FUTURE	3615.00	+8.25

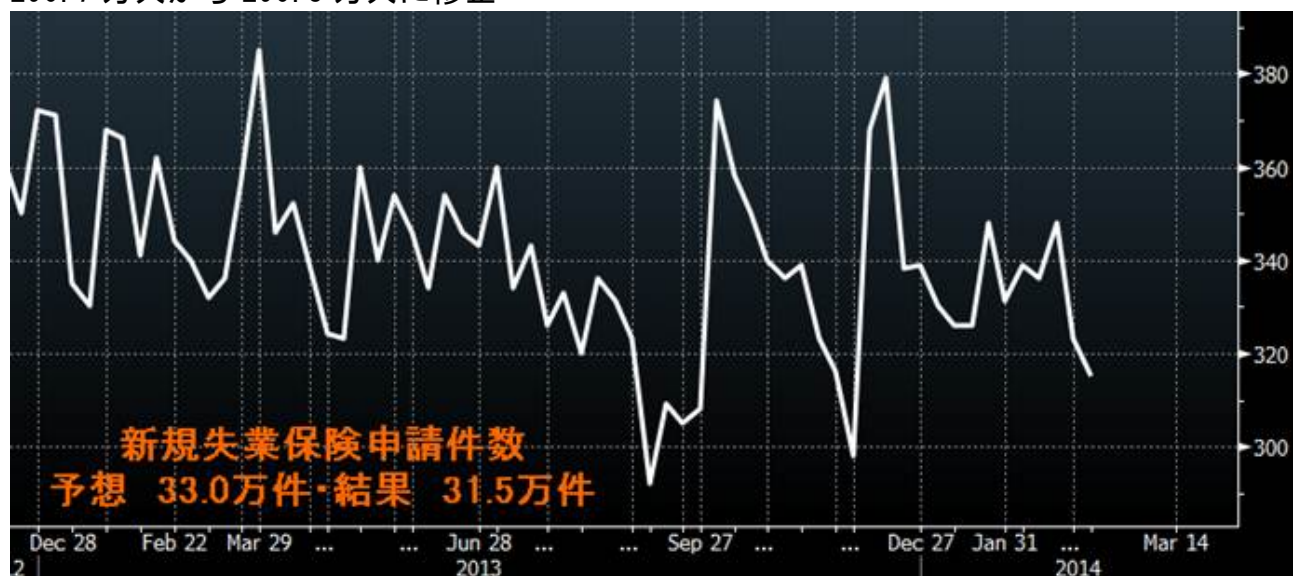
(出所: SBILM)

21:30

《 経済指標の結果 》

新規失業保険申請件数 31.5 万件 (予想 33.0 万件・前回 32.4 万件) 前回発表の 32.3 万件から 32.4 万件に修正

失業保険継続受給者数 285.5 万人 (予想 290.5 万人・前回 290.3 万人) 前回発表の 290.7 万人から 290.3 万人に修正



(出所: ブルームバーグ)



(出所:ブルームバーグ)

経済指標データ

《新規失業保険申請件数・継続受給者数》

申請件数・前週比・4週移動平均・受給者数・受給者比率

14/03/08	315,000	-9,000	330,500	*****	*****
14/03/01	324,000	-25,000	336,750	2,855,000	2.2%
14/02/22	349,000	+15,000	338,500	2,903,000	2.2%
14/02/15	334,000	-6,000	338,250	2,949,000	2.2%
14/02/08	340,000	+9,000	337,000	2,956,000	2.3%
14/02/01	331,000	-17,000	333,250	2,933,000	2.3%
14/01/25	348,000	+19,000	333,000	2,966,000	2.3%
14/01/18	329,000	+4,000	332,250	2,948,000	2.3%
14/01/11	325,000	-5,000	335,250	3,007,000	2.3%
14/01/04	330,000	-15,000	349,000	3,022,000	2.3%

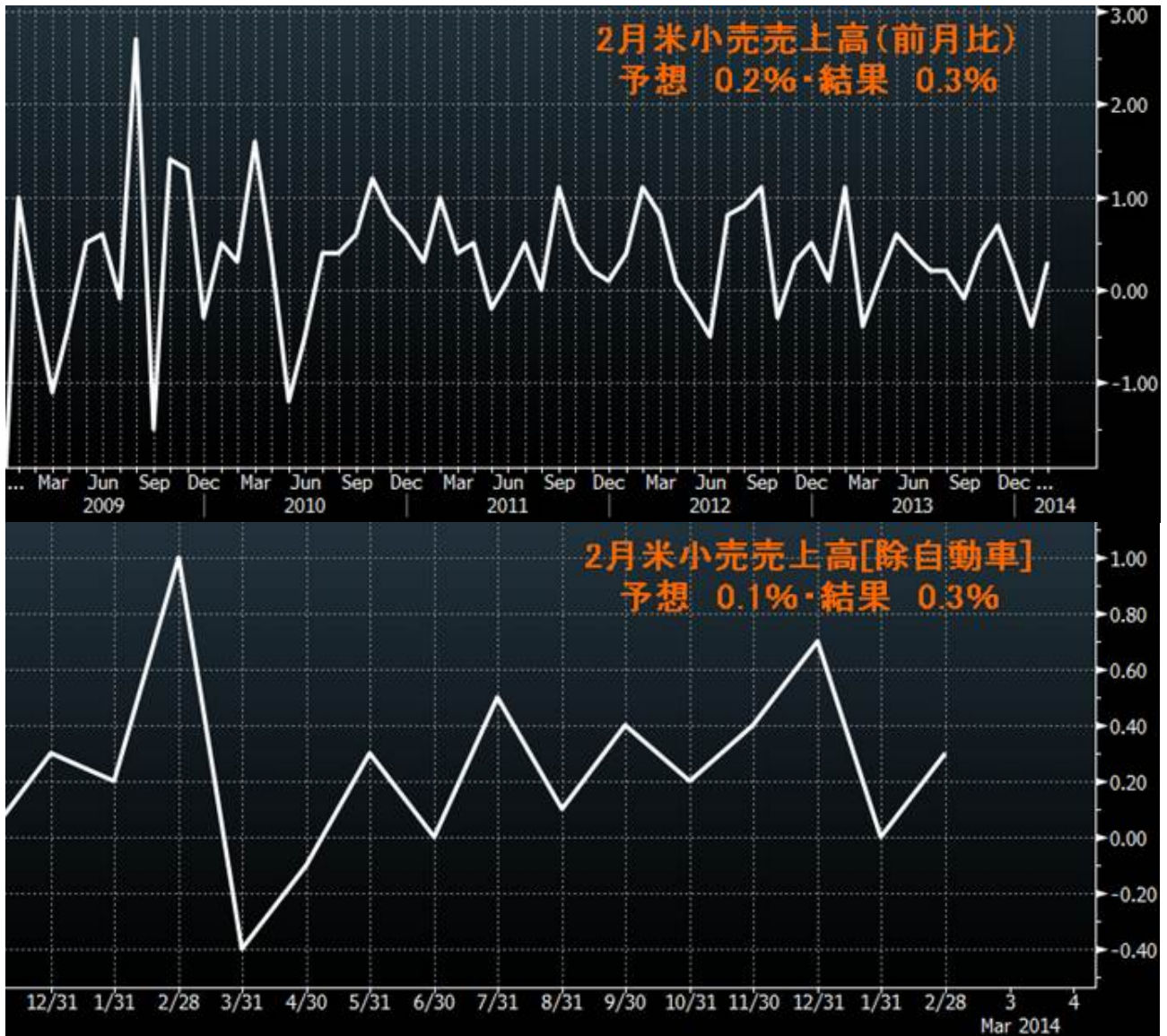
受給者数は集計が1週間遅れる

21 : 30

《 経済指標の結果 》

2 月米小売売上高（前月比） 0.3%（予想 0.2%・前回 -0.6%）前回発表の-0.4%から-0.6%に修正

2 月米小売売上高[除自動車] 0.3%（予想 0.1%・前回 -0.3%）前回発表の 0.0%から-0.3%に修正



(出所:ブルームバーグ)

指標結果データ

《米小売売上高》

	2月	1月	12月	11月	10月	9月	前年同月
小売売上高	0.3	-0.6	-0.3	0.3	0.5	0.1	1.5
除く自動車	0.3	-0.3	0.1	-0.2	0.4	0.4	1.4
自動車・部品	0.3	-2.2	-2.1	2.0	1.0	-1.1	2.2
建設資材等	0.3	1.4	-0.1	0.9	-2.1	0.0	3.2
食品・飲料	-0.2	0.1	1.7	-0.2	0.0	0.7	2.8
総合小売店	-0.3	-0.4	-0.7	-0.1	0.2	0.1	-0.8
大規模小売店	0.7	-2.4	-1.2	0.1	0.6	-0.4	-4.8
その他小売店	-0.9	-0.3	-1.6	0.2	0.6	-1.2	1.4

(前月比%)

21 : 30

《 経済指標の結果 》

2月米輸入物価指数(前月比) 0.9%(予想 0.5%・前回 0.4%) 前回発表の0.1%から0.4%に修正

2月米輸入物価指数(前年比) -1.1%(予想 -1.9%・前回 -1.2%) 前回発表の-1.5%から-1.2%に修正



(出所:ブルームバーグ)



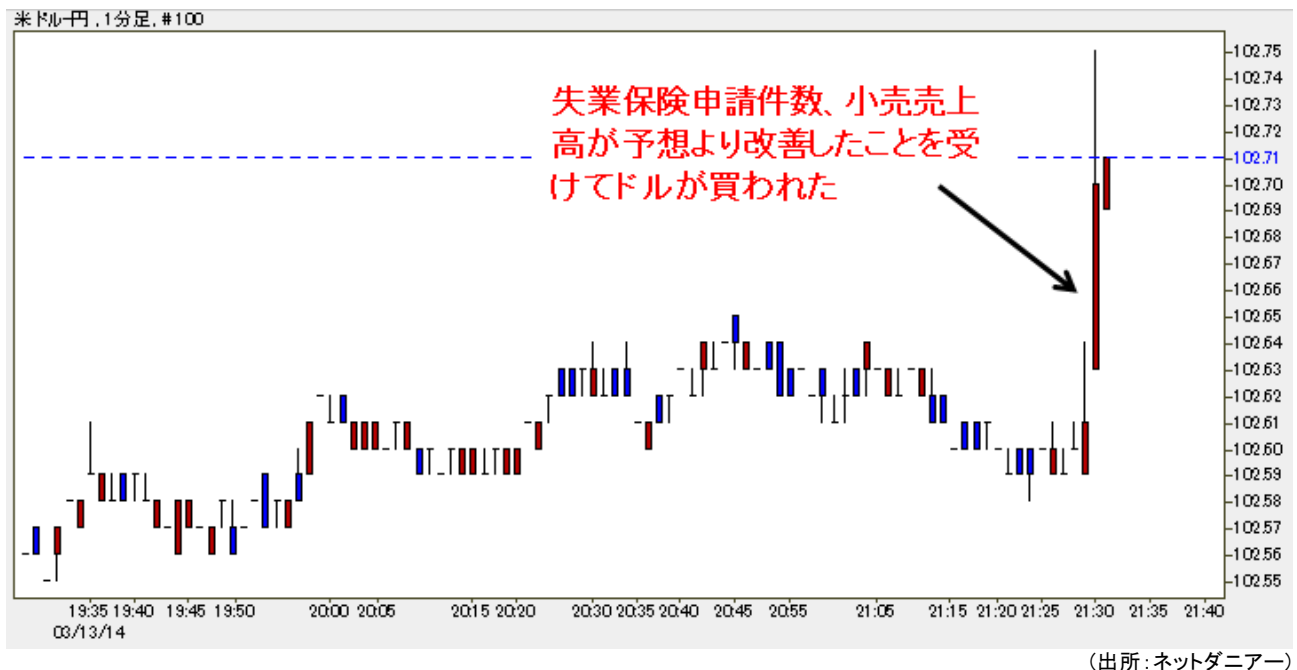
(出所:ブルームバーグ)

指標結果データ

《米輸出入物価》

	2月	1月	12月	11月	10月	9月
全輸入	0.9	0.4	0.1	-0.9	-0.6	0.3
石油	4.4	0.6	-0.2	-4.6	-3.6	1.1
非石油	0.2	0.3	-0.1	0.0	0.1	0.0
食品・飲料等	-0.7	0.6	0.5	-0.6	0.6	0.6
資本財	-0.2	0.1	-0.1	0.2	0.0	0.0
自動車・部品	0.0	-0.2	0.0	0.0	0.0	0.0
消費財	0.0	0.8	-0.2	0.1	0.0	-0.2

	2月	1月	12月	11月	10月	9月
全輸出	0.6	0.2	0.4	0.2	-0.6	0.4
農業	1.7	-0.4	0.3	-0.2	-1.3	0.6
非農業	0.6	0.2	0.4	0.1	-0.5	0.3
食品・飲料等	1.4	-0.5	0.5	-0.1	-1.3	0.8
資本財	0.2	0.2	0.0	0.1	-0.1	0.0
自動車・部品	-0.2	0.2	0.0	0.0	0.3	-0.0
消費財	-0.3	-0.1	0.1	0.3	0.1	0.0



21 : 30

《 経済指標の結果 》

1 月カナダ新築住宅価格指数 (前月比) 0.3% (予想 0.1%・前回 0.1%)
 1 月カナダ新築住宅価格指数 (前年比) 1.5% (予想 1.3%・前回 1.3%) 4Q カナダ
 設備稼働率 82.0% (予想 82.2%・前回 81.7%)





(出所:ブルームバーグ)

《 NY 外国為替市場 序盤 》

序盤の外国為替市場は、米小売売上高や雇用関連の経済指標の改善を受けて、ドル買い・円売りとなり、クロス円も堅調な動きとなっている。しかし、やや値動きは限定的。

22 : 33

米主要株価

米主要株	株価	前日比
ダウ平均	16380.66	+40.58
ナスダック	4335.09	+11.76

(出所:SBILM)

23 : 00

《 経済指標の結果 》

1 月米企業在庫 (前月比) 0.4% (予想 0.4%・前回 0.5%)



(出所:ブルームバーグ)

指標結果データ

《米企業在庫》

	1月	12月	11月	10月	9月	8月	前年同月比
企業在庫	0.4	0.5	0.4	0.8	0.6	0.4	3.9
製造業	0.2	0.5	0.1	0.0	0.3	0.2	2.0
小売業	0.4	0.7	0.8	1.1	1.0	0.4	6.3
自動車・部品	-0.1	1.0	1.3	3.0	2.3	0.5	11.4
卸売業	0.6	0.4	0.5	1.3	0.5	0.8	3.6

	1月	12月	11月	10月	9月	8月	前年同月比
企業売上	-0.9	-0.1	0.7	0.5	0.3	0.3	2.5
製造業	-0.3	-0.3	0.8	0.1	0.1	0.2	1.6
小売業	-0.6	-0.2	0.2	0.4	0.0	0.2	2.0
卸売業	-1.9	0.1	1.0	1.1	0.6	0.4	5.8

23 : 00

《 経済指標の結果 》

1月メキシコ鉱工業生産(前月比) 0.5% (予想 0.4%・前回 -0.5%)

1月メキシコ鉱工業生産(前年比) 0.7% (予想 0.6%・前回 -0.3%)

1月メキシコ製造業生産(前年比) 2.5% (予想 0.3%・前回 1.1%)



(出所:ブルームバーグ)

23 : 30

《 NY 株式市場 序盤 》

序盤の株式市場は、2月の米小売売上高が3ヵ月ぶりのプラスとなり市場予想を上回ったほか、失業保険申請件数も改善したことを好感して、主要株価は堅調な動きとなっている。ただ、中国の工業生産などの指標が悪化したことを受けて、中国経済に対する懸念も根強く、やや上値の重い動きとなっている。

《 経済指標のポイント 》

(1) 米失業保険申請件数は、前週比-0.9万件的の31.5万件的となり、2013年11月30日の週以来の低い水準となった。申請件数の4週移動平均は、前週比-6250人の33万500人で、2013年12月7日の週以来の低い水準となった。また、集計が1週遅れる失業保険受給者数は、前週比-4.8万人の285.5万人となり、2013年12月21日の週以来の低い水準となった。受給者総数の4週移動平均は、前週比-1万9500人の291万5750人となった。そして、受給者比率は、前週から横ばいの2.2%だった。

(2) 2月の米小売売上高は、前月比+0.3%の4271億8600万ドルと3ヵ月ぶりのプラスに転じた。前年同月比は+1.5%のプラスだった。主力の自動車・同部品、百貨店、家具などが前回腹大きく改善し、全体を押し上げた。

①変動が激しい自動車・同部品を除く売上高は、前月比+0.3%、前年同月比は+1.3%となった。

②品目・業種別では、衣料・服飾が+0.4%、自動車・同部品が+0.3%、家具・装飾は+0.4%、ガソリンスタンドは+0.1%。一方、電子・家電、食品・飲料はいずれも-0.2%となった。

③米小売売上高は寒波の影響が懸念されたものの、緩やかな経済成長と雇用改善を背景に回復基調が戻ってきたことが示された。

(3) 2月の米輸入物価指数は、前月比+0.9%となり、3ヵ月連続でプラスとなった。

①石油は前月比で+4.4%となり、上昇幅は2012年8月以来の大きさとなったが、前年同月比では-2.6%となった。石油以外の品目は前月比+0.2%だが、前年同月比は-0.6%となった。

②農産物は前月比で+1.7%、前年同月比では-6.0%だった。農産物以外の品目は前月比で+0.6%、前年同月比では-0.7%となった。

③品目別では、原油が+3.9%、食品は-0.7%と2013年6月以来の下落率。天然ガスは+22.4%となった。

④国・地域別では、カナダが+2.3%、EUが+0.1%、メキシコを含む中南米は+1.0%、中国が+0.2%、日本は-0.1%となった。

(4) 1月の米企業在庫は、前月比+0.4%の1兆7150億5700万ドルとなり、市場予想に一致した。前年同月比は+3.9%となった。

①業種別は製造業が+0.2%、卸売業が+0.6%、小売業は0.4%、自動車・同部品を除く小売業は+0.7%となった。

②小売業の内訳は自動車・同部品が-0.1%、家具は-0.7%、食品・飲料が-0.3%となり、一方建材・園芸用品は+0.1%、衣料品は+0.8%、総合小売りは+0.9%となった。

③企業売上高は、前月比-0.9%の1兆3028億6600万ドル、前年同月比では+2.5%となった。業種別では、製造業が-0.3%、卸売業が-1.9%、小売業が-0.6%となった。在庫に対する売上高の比率は前月比0.02ポイント上昇の1.32となった。

1:00

米主要株価・中盤

ダウ 16259.79 (-80.29)、S&P500 1863.61 (-4.59) ナスダック 4302.79 (-20.55)

《 NY 債券市場 ・ 午前 》

午前の債券市場は、米失業保険申請件数や2月の小売売上高が市場予想より良い内容だったことを受けて売られる半面、中国経済やウクライナ情勢の先行き不透明感から逃避的な買いもあり、もみ合いの展開が続いている。

午前の利回りは、30年債が3.65%（前日3.67%）、10年債が2.72%（2.73%）、7年債が2.20%（2.21%）、5年債が1.59%（1.59%）、3年債が0.79%（0.79%）、2年債が0.38%（0.36%）。

《 欧州のポイント 》

アイルランド政府は、2010年に財政危機で国際支援下に入ってから以来、初の10年債入札を実施した。10年債の落札利回りは2.967%となり、入札では過去最低の水準となった。また、応札倍率は2.9倍だった。アイルランドが1月に銀行団を通じ37億5000万ユーロ相当の2024年償還債を発行した際の利回りは3.543%だった。調達額は10億ユーロ（約1430億円）となった。アイルランドは、昨年12月、欧州の一連の危機国で初めて支援から脱却した。これまでも短期国債の入札は実施してきたが、長期国債の入札は行っておらず、市場復帰への最後の関門とみられていた。

欧州主要株価	終値	前日比
英 FT100	6553.78	-67.12
仏 CAC40	4250.51	-55.75
独 DAX	9017.79	-170.90
ストック欧州 600 指数	324.51	-3.44
ユーロファースト 300 指数	1294.30	-12.96
スペイン IBEX35 指数	9950.30	-120.10
イタリア FTSE MIB 指数	20591.82	-189.64
南ア アフリカ全株指数	46825.52	-363.32

(出所: SBILM)

《欧州株式市場》

欧州株式市場は、中国景気の先行き懸念や、ウクライナ情勢の緊迫化を背景に、主要株価が軟調な動きとなった。



(出所:ブルームバーグ)

2 : 00

《米財務省 30 年債入札》

最高落札利回り・・・3.630% (前回 3.690%)
 最低応札利回り・・・3.500% (前回 3.600%)
 最高利回り落札比率・・・92.15% (前回 93.68%)
 応札倍率・・・2.35 倍 (前回 2.27 倍)

3 : 00

《 経済指標の結果 》

2 月米財政収支 -1935 億 USD (予想 -1950 億 USD・前回 -203.5 億 USD)



(出所:ブルームバーグ)

3 : 35

NY 金は、中心限月が前日比 1.90 ドル高の 1 オンス＝1372.40 ドルで取引を終了した。

4 : 20

NY 原油は、中心限月が前日比 0.21 ドル高の 1 バレル＝98.20 ドルで取引を終了した。

主要商品	終 値	前日比
NY GOLD	1372.40	+1.90
NY 原油	98.20	+0.21

(出所:SBILM)

《 NY 金市場 》

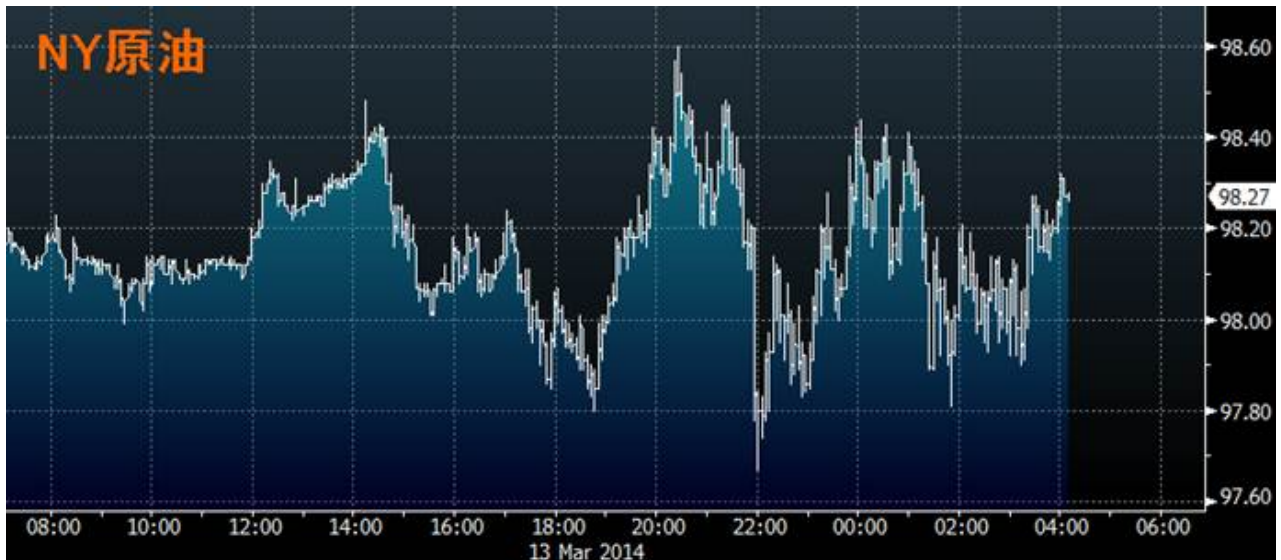
NY 金は、前日までの相場続伸の反動で利益確定売りが先行したものの、その後は引き続きウクライナ情勢をめぐるロシアと欧米との緊張や、中国経済の先行き不安を背景に、安全な資産とされる金を買う動きが優勢となった。終値ベースでは、昨年 9 月上旬以来、約半年ぶりの高値水準となった。



(出所:ブルームバーグ)

<< NY 原油市場 >>

NY 原油は、米失業保険申請件数や小売売上高が市場予想より良い内容となったことで、米景気回復に伴うエネルギー需要の増加期待が広がった。しかし、中国の経済指標が鈍化したことを受けて、中国経済に対する先行不透明感もあり、上げ幅は限定的となった。



(出所:ブルームバーグ)

主要株価	終値	前日比	高値	安値
ダウ平均株価	16108.89	-231.19	16405.07	16084.10
S&P500 種	1846.34	-21.86	1874.40	1841.86
ナスダック	4260.42	-62.91	4339.90	4242.95

(出所:SBILM)

《米株式市場》

米株式市場は、2月の米小売売上高が3ヵ月ぶりのプラスとなり市場予想を上回ったほか、失業保険申請件数も改善したことを好感して、序盤の主要株価は堅調な動きとなった。しかし、中国の経済指標が悪化したことで、中国経済に対する懸念が根強いことや、ウクライナ情勢に対する懸念が再び強まったことを受けて、主要株価が大幅下落となった。ダウ平均株価は、序盤に前日比で64ドル高まで上昇したものの、その後は大きく下落する動きとなり、終盤には255ドル安まで下げる場面もあった。



(出所:ブルームバーグ)

主要通貨	NY 終値	NY 高値	NY 安値
USD/JPY	101.70	102.81	101.55
EUR/JPY	141.02	143.36	140.71
GBP/JPY	169.06	171.63	168.72
AUD/JPY	91.78	93.41	91.54
NZD/JPY	86.87	88.33	86.53
EUR/USD	1.3868	1.3959	1.3845
AUD/USD	0.9026	0.9104	0.9014

(出所:SBILM)

《外国為替市場》

外国為替市場は、米経済指標が軒並み予想より改善したことを好感して、序盤のドル円・クロス円は堅調な動きとなった。しかし、ウクライナ情勢に対する懸念が高まったことや、中国経済の鈍化懸念を背景に、株価が大きく下げる動きとなったことから、投資家のリスク回避の動きも強まり、ドル円・クロス円は終盤まで軟調な展開が続いた。



(出所:ブルームバーグ)

提供: SBI リクイディティ・マーケット株式会社

お客様は、本レポートに表示されている情報をお客様自身のためにのみご利用するものとし、第三者への提供、再配信を行うこと、独自に加工すること、複製もしくは加工したものを第三者に譲渡または使用させることは出来ません。情報の内容については万全を期しておりますが、その内容を保証するものではありません。また、これらの情報によって生じたいかなる損害についても、当社および本情報提供者は一切の責任を負いません。本レポートに表示されている事項は、投資一般に関する情報の提供を目的としたものであり、勧誘を目的としたものではありません。投資にあたっての最終判断はお客様ご自身でお願いします。